

第1回 町長タウンミーティング

日時：平成29年1月29日（日）10時～11時30分

場所：ふれあい活動センター（ゆめくる） 視聴覚室

参加者：40名 発言8名9回（傍聴者1名）

町長あいさつ（要約）

皆様おはようございます。今日はとてもお寒い中、第一回タウンミーティングに大勢の皆様にご参加いただきありがとうございます。初めてなので少し緊張しておりますが、しっかりお話を伺い進めてまいります。

私は5月14日から町長職を務めさせていただいておりますが、皆様のご支援のなかで8か月と2週間が経過いたしました。

町民の皆様の意見をしっかり聞き、行政が受け止めてそれを活かしていくことが大事だと感じています。本来ならばこのタウンミーティングはもっと早く行いたかったのですが、すこし私自身が勉強する期間も必要だと考え、このような時期になりましたことをお許しいただきたいと思います。

今回のテーマは「福祉の充実と健康長寿のまちづくり」としぼりましたが、これに限らずご意見をいただきたいと思います。テーマの福祉問題は非常に複雑で様々な制度がありますが、一番大事で大切なことだと認識しております。

以前から福祉の充実をうたってきましたが、全国的に少子高齢化が問題となっている中、幸いにして伊奈町は若い町であります。平均年齢は42歳であり、伊奈町全体の65歳以上の割合は22.25%です。この割合について、町内の地区別で分析をいたしました。南の地区は高齢者の割合が高い状況です。その中で一番率が高いのは綾瀬北区の48%です。2番目は綾瀬東は43%、続いて綾瀬南の37%でした。昭和47年に区画整理を行い一番初めに発展したのが南の地区でした。それが40年余り経過して一番年齢が高い地区となったわけです。

高齢者関係の福祉の問題の施策といたしまして、現在2つ取り組んでいます。一つ目はお年寄り世帯見守りたいを募集しています。これは独居老人が孤独死を防ぐことを目的としています。現在登録いただいている方が200人いますが、400人にするために現在募集を進めています。

そしてもう一つは健康長寿教室を各区で開かせていただいています。これは保健師が各区に出向いて健康に関する体操などをみなさんと実践するものですが、今まで2か所で実施しました。これからどんどん開催を増やしていこうと考えています。

現在、町内に100歳以上の方が7人いらっしゃいますが、みなさん女性です。男性は98歳が最高齢です。100歳以上の方が増えて埼玉県一の割合になるよう施策を考えたいと考えています。

県民活動総合センターの開設時に国語学者の金田一春彦先生が来町しましたが、その際、無線山の雑木林の種類の多さは日本一だとお話ししてくれました。この雑木林から出る酸素も日本一と私は思っています。そのおいしい空気を吸っている伊奈町の町民は長生きできると思っています。このようなことで健康長寿の町ということをPRしていければとも考えています。

南に対して北の地区は子どもが多い地区となっています。65歳以上の割合で見ても、北が若者、南がお年寄りといった地域特性になっています。これに合わせてそれぞれの地区でいろいろな施策が必要であり、課題として考えていく必要があります。

子どもを対象とする施策といたしましては、国民健康保険加入者で2人目以降の出産育児一時金を42万円から50万円に引き上げをし、高校生までの医療費を無料にしようとしています。これにより子どもたちを育てやすい町にしようと考えています。

これからも引き続き福祉の充実を図っていき、住んでみたい・住んでみよう・住んでよかったと思ってもらえる伊奈町にするべく、しっかりやっていきたいと思います。

また、私もまだまだ勉強中ですので、すべてを私から回答することは難しいかと思います。同席している統括監からも回答することもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

今日は本当にお集まりいただきありがとうございます。

◎意見交換内容（主なものを要約）

1. 綾瀬北区 男性

○綾瀬3区は高齢化が進み、役員のなり手がいない状況です。催し物に参加しやすい手段を考えていただけないか。

○南中学校は、いつかは老人ホームになるのでしょうか。待機者がいるのではないのでしょうか。

○国民健康保険は今後どうなっていくのでしょうか。

○見守りたいなど皆で見守っていくのは良いことと考えます。老人の居場所作りが必要です。綾瀬3区をモデル地区として老人の居場所作りをしてはどうでしょうか。

○蓮田市も映画でアピールしていますが、伊奈町も市民農園などの畑作りをアピールしたらどうでしょうか。

◆町長回答

- 町民運動会では種目の変更を含めて今の時代にあった形にいろいろ見直しをしています。
- 南中は生徒が減っている状況。これからは空き教室などを利用して生徒とお年寄りがいっしょにいる状況は良いことと考えます。
- 予防接種や、検診など町がたくさんの費用負担をしています。医師会にもこれらの単価を引き下げていただくよう頼んでいます。
- 安心安全ステーションを誰でも利用できるように、お年寄りのサロンのようにもしたいと考えています。
- 農協でレクリエーション農園を貸出しています。町でもPRを進めたいです。

2. 栄中央区 女性

○介護保険の運用が厳しい状況と聞きました。自己負担はやむをえませんが、いざ自分たちが介護状態になったときに利用できるのでしょうか。社会保障を充実してほしいです。町立の特別養護老人ホームを作ってほしいと思っています。

◆町長回答

- 現在は町の予算が限られている状況です。みなさんが介護状態にならないよう、健康で長生きできるような諸施策を進めていきます。

3. 栄北区 男性

○地域福祉計画などありますが、各課総動員で福祉の充実と健康長寿のまちづくりに取り組んでほしいと考えます。福祉課や健康増進課、生涯学習課など、提供する側はたくさんありますが、これを受ける側は一人です。提供する窓口もひとつにしていきたいです。

○町全体で一律ではなく、地域の実情にあったコミュニティを作って施策を打っていただきたい。学区ごとのコミュニティがいいのではないのでしょうか。

○今後の安心安全ステーションをどのようなものにするかは地域で考えたいので、地域に相談してください。

◆町長回答

- 福祉関連の業務については行財政改革推進会議で検討していきます。

- 高齢者の方の日常の移動の問題がある認識があります。いなまるの利便性向上も図ります。
- 今後は安心安全ステーションを地域コミュニティの拠り所としたいと考えています。
- その方法については地域に相談をします。

4. 栄南区 女性

- 健康長寿教室は、いつやっているのでしょうか。足の悪い人も参加できるのでしょうか。
- 自分は社協の協力隊員をやっていて、独居老人宅を時々訪問しています。見守りたいとの兼ね合いがよくわからないのですが。
- ◆町長回答
- 健康長寿教室は、それぞれの自治会の会館で簡単にできるようなものを行っています。教室の開催の時期等については、区長さんにも相談してください。
- 見守りたいについては、それぞれの時間があるときに行う声掛け運動のようなものとして、ご理解いただきたいと思います。

5. 栄中央区 女性

- 伊奈病院が町の北部に移転するのは本当ですか。
- 高齢者の交通手段が不安です。乗合バスとかは考えられないでしょうか。
- ◆町長回答
- 伊奈病院の北部移転の計画は、現在は無くなったと聞いています。
- 町内の移動手段としてのいなまるの利用状況は一番多くて15人。少ないときは0人。病院やお店など、止まる場所を増やして欲しいとの要望がたくさんあります。広告料を取るなど収入を増やす工夫をしていきたいと考えています。

6. 大針区 男性

- 以前手話言語条例を作るための意見書を提出しました。伊奈町は条例を制定するのでしょうか。
- ◆町長回答
- なるべく早い時期に制定します。

7. 下郷区 男性

○妻が法光寺で「こもれびの会」というボランティアをやっています。法光寺さんが場所を提供してくれて会費300円。町で取材して、皆に情報を流してはどうでしょうか。

◆町長回答

●是非広報の取材をさせていただきたいです。

8. 下郷区 男性

○健康長寿について提案します。わかりやすいキャッチフレーズやキーワードが必要ではないでしょうか。「自主、自覚、実践」まず体を動かす。そして社会と関わる。各人が努力する。広報に健康長寿のページを作ったらいかがでしょうか。コラムとかも良いと思います。また、安全のためには安心はしない。まさかと言わない。適度に見守りたいを実践をして、行政には頼らない気持ちも大切であると考えます。皆さんもトラスト地での活動やジョギングロードを歩くなど近場の健康資源を活用すればと思います。

◆町長回答

●さまざまな提案をありがとうございます。皆様にはいつまでも健康でいていただきたいです。

9. 栄北区 男性

○タウンミーティング、区長に出席者を頼むとかはいかななものかと考えます。人数制限はしない、事前申込もしない、誰でもどうぞという感じでやったほうがいいと考えます。

どうやって福祉を充実するのか。ただ金を集めることはできません。ボランティアを有効活用するべきと考えます。それぞれの地域に配置育成することが大切です。元気な年寄りをどう活用するのか。福祉を福祉課だけに任せるだけでなく、各課連携をし、社協とも情報共有をしてほしい。栄北区は「ふるさと」という居場所を運営しています。それぞれの地区に世代を超えた居場所を作ることが福祉の充実につながります。町にも是非取り組んでほしいです。

◆町長回答

●いただいたご意見ご提案は、これからの行政運営に取り入れていきます。

町長まとめ

これからは歳入をしっかりと考えて無駄をなくしてメリハリをつける行政を進めていきたいと考えています。そしてこれからも住民の皆様からご意見ご要望をどんどんいただきたいと思います。町民の声を聴くことが私にとって一番大切なことだと思っています。またその頂いた声を行政に活かしてまいります。

今日はお集まりいただきお礼と感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

